

お 知 ら せ

研究利用の負担金改定について

研究利用の負担金が平成元年度から表1のように変更されました。主な変更内容は、登録に伴う基本料が追加されたこと、及びある程度の利用がこの基本料だけで行えるようになったことです。この改定によって、一部の方々には多少の負担増になることも予想されますが、ご了承いただきますようお願い致します。情報科学センターでは、各学部での事務処理を簡素化するため、基本料を登録時(実際には4半期末)に、5月から2月までの利用料を3月に一括して請求します。3月1日から4月30日までの間は、利用はできますが負担金の請求は行いません。

なお、利用負担金累計額を利用者自身で確認する方法については、現在そのツールを開発中ですので、準備でき次第お知らせします。

表 1

改 定 後	改 定 前
<p>基本料 支払責任者登録 10,000円 (年額) 課題登録 10,000円 (年額)</p> <p>利用料 ファイル負担 MELCOM 4MB IBM 8MB を超えた分に対して 2円/100KB・日 注) IBMシステムでは3MBがCMS用として 無条件に確保される。</p> <p>用紙負担 10,000枚を超えた分に対して 3円/枚</p>	<p>利用料 MELCOM CPU 0.25円/秒 ファイル 100円/200KB・月 用紙 3円/枚</p> <p>IBM主システム CPU 0.5円/秒 ファイル 2円/100KB・月 用紙 3円/枚</p> <p>IBM副システム CPU 0.25円/秒 ファイル 2円/100KB・月 用紙 3円/枚</p>

(I S C ニ ュ ー ス N o . 6 平成元年5月10日発行)

授業用ID登録と研究用課題申請の方法について

情報科学センター利用のための基本ID(基本登録番号)とパスワード、および利用の手引がお手元に届いていることと思います。センターでは、基本IDのほか、授業支援用のIDと、研究利用のためのIDを発行しています。

これらのIDの登録は、これまでオンラインで行うシステムとなっていました。平成元年度から書類に記入してセンターに提出して頂くという方法で行います。申請のための書類(授業登録申請書、支払責任者登録申請書、研究用課題申請登録申請書)については、センター事務室までお申し出ください。

研究用課題申請を行うと、同一のIDでセンターのすべてのシステムが使えるようになりました。飯塚キャンパスでは、CMSとMVSが利用できますし、戸畑キャンパスでは、上記のほかにMELCOMも利用できます。

(ISCニュースNo. 6 平成元年5月10日発行)

飯塚研究者用端末室設置について

飯塚情報科学センターでは、研究者用の端末利用場所をセンター2階の専門棟から入ってすぐの部屋(研究者用端末室)に用意しました。研究者用端末室には、5080カラーグラフィック装置を2台、5540を1台、6100を2台設置しています。これらの装置はすべてホストコンピュータの端末になりますが、5080と6100では日本語表示ができません。

(ISCニュースNo. 7 平成元年6月12日発行)

F O R T R A N 7 7 の 公 開 について

このたびMVS上で富士通社製のFORTRAN77コンパイラが使用できるようになりました。TSOでのコマンド等の使い方は九州大学大型計算機センターと同じですが、RUNコマンドとEDITのRUNサブコマンドは、IBMのFORTRANコンパイラが呼び出されるため、使用できません。なお、このFORTRAN77コンパイラのパラメータの省略時解釈は九州大学大型計算機センターと同じになっています。

TSOでFORTRANプログラムを翻訳実行する場合は、

READY

FORT77 データセット名

と入力します。

バッチで利用するときのカタログドプロシジャは

FORTC, FORTCGO, FORTCL, FORTCLG

があります。

詳細は以下のマニュアルを参照してください。

「FACOM OS IV/F4 MSP FORTRAN77 使用手引書 78SP-5300」

「FACOM OS IV/F4 MSP FORTRAN77 文法書 64SP-3330」

「FACOM OS IV/F4 MSP FORTRAN SSL II 使用手引書 99SP-0050」

(ISCニュースNo. 7 平成元年6月12日発行)

C I C S の サービス 停止 について

MVSのTSOコマンドによって、N1ネットワークを利用することが可能にな

りました。これに伴って、10月1日よりCICSによるN1ネットワークのサービスを停止します。CICSを使っておられる利用者は、9月30日までに移行されるようお願いいたします。TSOコマンド等の利用法については、システム利用の手引「MVS編」を参照してください。

(ISCニュースNo. 8 平成元年7月3日発行)

SASの公開について

このたびMVS上で統計パッケージソフトSAS (Statistical Analysis System)が利用できるようになりました。

5540などの漢字端末で利用する場合は

READY

SASK

非漢字端末で利用する場合は

READY

SAS

で起動します。

以下にサンプルプログラムを実行する場合の手順を示します。

1

```
*****
*   KYUKO-DAI (MVS/VM/VTAM NETWORK)   *
*****

*** ENTER APPLICATION REQUEST
*** ITSO/ICMS
ITSO[実行] ←.....飯塚TSOを選択
```

2

```
IKJ56700A ENTER USERID -
TX9999A[実行] ←.....研究用ID
```

3

```
----- VS2 REL 3.8 TIME SHARING OPTIN -----
PF1/PF13 ==> Help      PF3/PF15 ==> Logoff   PA1 ==> Attention
You may request specific Help information by entering a '?' i
ENTER LOGON PARAMETERS BELOW:                      RACF LOGON PA

*USERID      ==> TX9999A

PASSWORD ==> _____ ←.....パスワード      NEW PASSWORD
.....

[実行]
```

4

```
ICH70001I TX9999A LAST ACCESS AT 19:43:28 ON MONDAY, JUNE 19
IKJ56455I TX9999A LOGON IN PROGRESS AT 19:55:12 ON JUNE 19, 1
IKJ56951I NO BROADCAST MESSAGES
***[実行]
```

5

```
READY
SASK[実行] ←漢字端末(5550/5540)でのSASの実行
```

6 コマンド => X ALLOC F(AA) DA('SAS.SAMPLE') SHR [実行] 編集画面

7 コマンド => COPY AA(G3D1) [実行] 編集画面
↑
サンプルプログラムをコピーする

[PF8] キーを3回押す。

8

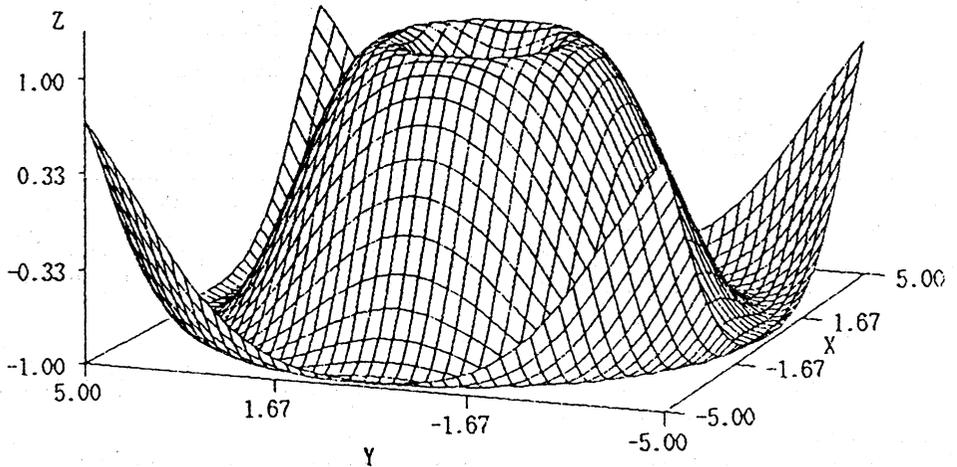
```
00013 /*****  
00014  
00015 GOPTIONS NOTEXT82;  
00016 DATA HAT;  
00013 /*****  
00014  
00015 GOPTIONS DEVICE=IBM5550;  
00016 DATA HAT;
```

↓
↑
端末に表示するにはこのように書き換える[注]

[PF3] を押すと実行され以下のような図が表示される。

9

THE COWBOY HAT

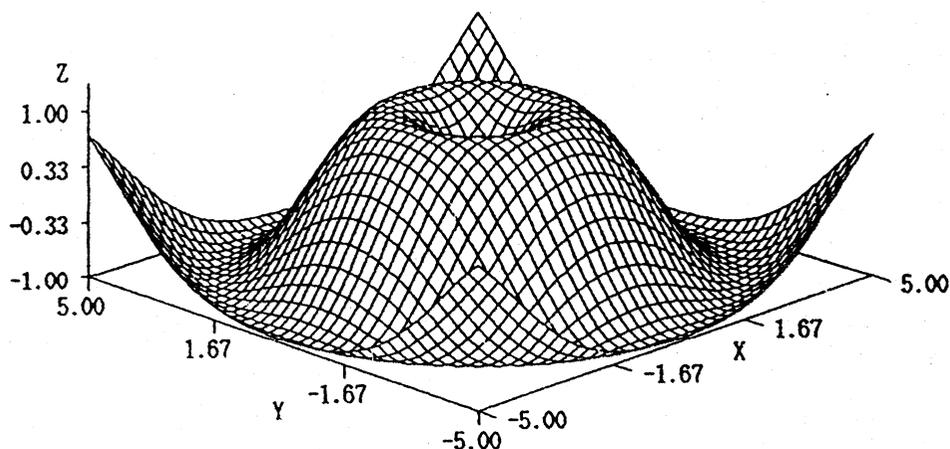


[CTRL]+[ページ印刷] でプリンタに図が出力される。

[実行] を押すと上の図を45度回転させた図が表示される。

THE COWBOY HAT

TILTED AND ROTATED AT A 45 DEGREE ANGLE



[実行]でプログラムの実行を終了。

11

コマンド => BYE ←… S A Sを終了する。

編集画面

12

READY
LOGOFF ←… T S Oを終了する。

[注]レーザープリンタにグラフ出力するには

```
GOPTIONS DEVICE=GDDMFAM4 GDDMTOKEN=IMG240
GDDMNICKNAME=IBM3800;
```

と指定する。このときグラフはSASG.DATAというデータセットに書き出されるため、S A S終了後、

```
GPRINT SASG.DATA 出力クラス
```

のコマンドを入力する。出力クラスとしては、C (飯塚キャンパス) または E (戸畑キャンパス) を指定する。

S A Sについての詳細は以下の文献などを参照してください。

(1)武富敬他「統計解析システム S A S 概説 (1) ~ (4) 」

九州大学大型計算機センター広報 Vol.14, No.2-4, 1981.

Vol.15, No.4, 1982.

報告

- (2) 竹内啓監修「SASによるデータ解析入門」東京大学出版会,1987.
(3) 「SAS User's Guide:Basics,1-3」, 「SAS User's Guide:Statistics」
SASソフトウェア株式会社

SASに関する全世界的なディスカッションをBBS（電子掲示版）の中で読むことができます。

BBSはCMS上で、以下の手順で起動します。

```
R; T=0.28/0.39 11:40:57
BITNET
DASD 241 DETACHED
DASD 241 LINKED R/0; R/2 BY TOBATA; R/0 BY 011 USERS
** READY TO USE INTERNATIONAL BITNET **
R; T=0.01/0.02 11:41:31
BBS
```

(ISCニュースNo. 8 平成元年7月3日発行)

バッチ形式でFORTRANを実行する際の注意

データをデータセットから読み込み、実行結果をデータセットに格納するようなFORTRANプログラムをバッチ形式で実行する時は、入出力用データセットを指定するDDステートメントの順番は以下のようにしてください。

- ・入力用データセットのDD名にGO.SYSINを使用する場合

出力用データセット指定のDDステートメントを入力用データセット指定のDDステートメントより先に書かなければなりません。

例：

```
//ジョブ名 JOB CLASS=A,MSGCLASS=0,MSGLEVEL=(1,1)
// EXEC FORTCLG
//FORT.SYSIN DD *
        FORTRAN ソース プログラム
//GO.FT06F001 DD DSN=出力用データセット名,DISP=(NEW,CATLG),
//              UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10),RLSE)
//GO.SYSIN DD DSN=入力用データセット名,DISP=SHR
//
```

- ・入力用データセットのDD名にGO.FT05F001を使用する場合

入力用データセット指定のDDステートメントを出力用データセット指定のDDステートメントより先に書かなければなりません。

例：

```
//ジョブ名 JOB CLASS=A,MSGCLASS=0,MSGLEVEL=(1,1)
// EXEC FORTCLG
//FORT.SYSIN DD *
    FORTRAN ソース プログラム
//GO.FT05F001 DD DSN=入力用データセット名,DISP=SHR
//GO.FT06F001 DD DSN=出力用データセット名,DISP=(NEW,CATLG),
//          UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10),RLSE)
//
```

(I S C ニュース N o . 9 平成元年 8 月 5 日 発行)

S A S / G R A P H を 実行 する 際 の オ プ シ ョ ン に つ い て

S A S / G R A P H を 実行 する ため に は , G O P T I O N S ス テ ー ト メ ン ト を 用 い て D E V I C E を 次 の よ う に 指 定 し な け れ ば な り ま せ ン .

端 末 出 力 の 場 合 : G O P T I O N S D E V I C E = I B M 5 5 5 0 ;

レ ー ザ プ リ ン タ 出 力 の 場 合 :

G O P T I O N S D E V I C E = G D D M F A M 4 G D D M T O K E N = I M G 2 4 0 G D D M N I C K N A M E = I B M 3 8 0 0

こ の 指 定 を 簡 略 化 す る ため に , G O P T I O N S ス テ ー ト メ ン ト の 代 わ り に 次 の よ う に プ ロ グ ラ ム の 1 行 目 に 入 力 し て 実行 する こと に よ り D E V I C E の 設 定 が で き ま す .

端 末 出 力 の 場 合 : % I N C l u d e M A C R O (I B M 5 5 5 0) ;

レ ー ザ プ リ ン タ 出 力 の 場 合 : % I N C l u d e M A C R O (I B M 3 8 2 0) ;

但 し , レ ー ザ プ リ ン タ 出 力 の 場 合 に は , 直 接 レ ー ザ プ リ ン タ に 出 力 さ れ る わ け で は な く , S A S G . D A T A を 作 成 す る だ け で す の で , 次 の よ う に G P R I N T コ マ ン ド を 用 い て 下 さ い .

G P R I N T S A S G . D A T A 出 力 ク ラ ス

(I S C ニュース N o . 9 平成元年 8 月 5 日 発行)

M V S の ノ ード 名 変 更 と M V S - 九 大 セ ン タ ー 間 ファ イ ル 転 送 に つ い て

9 月 1 1 日 (月) に B I T N E T の M V S の ノ ード 名 を 従 来 の M V S から , J P N K I S C M に 変 更 し ま す . こ の こと に よ っ て , 9 月 1 1 日 以 降 , M V S - 九 大 セ ン タ ー 間 で 直 接 ファ イ ル を 転 送 で き る よ う に な り ま す .

九 大 セ ン タ ー から M V S に ファ イ ル を 転 送 す る 場 合 は , 九 大 セ ン タ ー の T S S セ ッ シ ョ ン の 中 で ,

B I T S F I L E M V S ユ ー ー - i d @ J P N K I S C M 送 信 デ ー タ セ ッ ト 名

を 入 力 し ま す . M V S から 九 大 セ ン タ ー に ファ イ ル を 転 送 す る 場 合 は , M V S の T S O セ ッ シ ョ ン の 中 で ,

X M I T J P N C C K U . 九 大 ユ ー ー - i d D A (送 信 デ ー タ セ ッ ト 名)

のコマンドを実行して下さい。

なお従来のノード名MVSは9月11日より使用できなくなりますので注意して下さい。従って、CMSからMVSにファイル転送する場合も

SF ファイル名 TO MVSユ-ザ-id AT JPNKISCM

のように、従来の AT MVS から AT JPNKISCM のように書き換える必要があります。

(ISCニュースNo.10 平成元年9月7日発行)

注意：九大から九工大へのファイル転送は、平成2年7月現在、九大TSSと九工大TSOとの間に未解決の問題があり、実現されていません。

MVSにおけるグラフィックスライブラリ(GDDM)の使用方法について

MVSのFORTRANでグラフィックスライブラリ(GDDM)を利用できるようになりました。コンパイルと実行は、

FORT77G ソースデータセット名

のコマンドで行います。

レーザープリンタに出力するときは、GSSAVEステートメントを用いずに、FSINITステートメントの後に以下のステートメントを挿入します。

```
CALL FSINIT
C***** レーザプリンタ出力用手続き *****
DIMENSION MPROL(12)
CHARACTER*8 FPARM(1)
DATA FPARM/'IMAGE'/
DATA MPROL/5,1,6,0,7,1,8,50,50,0,9,1/
CALL FSINIT
CALL DSOPEN(10,4,'IMG240 ',12,MPROL,1,FPARM)
CALL DSUSE(1,10)
C*****
```

以下、描画ルーチン

上記ステートメントを挿入したソースプログラムをFORT77Gコマンドを用いて実行すると、図形データがIMAGEというデータセットに出力されます。レーザープリンタへの出力には、さらに以下のコマンドを入力して下さい。

READY

GPRINT IMAGE 出力クラス名

… 出力クラス名は、戸畑キャンパスではEまたはF
飯塚キャンパスではCまたはDを指定します。

(ISCニュースNo.10 平成元年9月7日発行)

BITNET-JUNET間の電子メール転送について

BITNET-JUNET 間で相互に電子メールの送受を行うことができるようになりました。

BITNET (学内) から JUNET (全体) へのメールを出す場合には、MAIL コマンドを用います。あて先のアドレスとしては JUNET のアドレスをそのまま指定します。

一方、JUNET (学内) から BITNET (全体) にメールを送る場合には、BITNET のアドレスの末尾に「.BITNET」を加えます。戸畑 CMS のユーザに送る場合は、たとえば次のようになります。

TA9999@JPNKISCT.BITNET

また、JUNET (全体) から BITNET (学内) へは、それぞれ

ta9999@jpnkisct.kyutech.ac.jp

ti9999@jpnkisci.kyutech.ac.jp

のようなアドレスであて先を指定することができます。

なお、両ネットワークで用いる漢字コード系が異なっているため、現在のところネットワーク間で転送された漢字のメールは、正しく読むことができません。

(ISCニュースNo.10 平成元年9月7日発行)

SAS/GRAPH利用ガイドの発行について

SAS/GRAPH利用ガイドを作成しました。情報科学センター事務室(戸畑:569, 飯塚:7555)で配布していますので、必要な方はご連絡下さい。

(ISCニュースNo.10 平成元年9月7日発行)

CICSのサービス停止について

ISC-NEWS No.8でお知らせしましたように、MVSのTSOコマンドによって、N1ネットワークを利用することが可能になったのに伴って、10月1日よりCICSによるN1ネットワークのサービスを停止します。CICSを使っておられる利用者は、今週中(9月30日まで)に移行されるよう重ねてお願いします。

(ISCニュースNo.11 平成元年9月26日発行)

戸畑キャンパスにおけるTSOレスポンスについて

戸畑システムと飯塚システムの間で、ファイル転送が行われているときは、戸畑キャンパスからMVSのTSOを使用する際、レスポンスが悪くなることがあります。現在、改善の方法を検討しております。ご了承ください。

(ISCニュースNo.11 平成元年9月26日発行)

N1のRJEサービスについて

MVSのノード名変更の際の不手際のため、N1のRJEサービスを利用する事ができなくなっておりましたが、9月26日からRJEサービスが利用できるようになりました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

なお、##NRJEステートメントを含むデータセットを作成し、N1RJEコマンドを使用している利用者の方は、##NRJEステートメントの6番目のオペランドの“MVS”を新しいノード名の“JPNKISCM”に変更する必要があります。例えば、##NRJEステートメントは、以下のようになります。

```
##NRJE TS9999A,PASWD1,KYUSHU,C1234A,KIT,JPNKISCM,TS9999A,B
```

但し、ISC-NEWS No.10でお知らせしたMVS-九大センター間のファイル転送はまだ利用できません。利用可能になり次第お知らせいたします。

(ISCニュースNo.11 平成元年9月26日発行)

MVSにおけるグラフィックスライブラリ(GDDM)用コマンド GDFPRINT の使用方法

MVSのFORTRANでグラフィックスライブラリ(GDDM)のGSSAVEステートメントを用いると、GSSAVEで指定した名前がメンバ名となり、ユーザID.ADMGDF(メンバ名)というGDFファイルが作成されます。11月6日(月)より、このGDFファイルの内容をレーザプリンタに出力できるようになりました。出力用コマンドは以下の形式です。

```
GDFPRINT   ムンバ名   出力クラス
```

… 出力クラス名は、戸畑キャンパスではEまたはF
飯塚キャンパスではCまたはDを指定します。

GDFファイルを作成するには、以下のソースステートメントを挿入します。

```
DIMENSION MPARAM(2),ISEG(2)
DATA MPARAM/0,2/
DATA ISEG/0,0/
INTEGER*4 ATYPE,ATMOD,FLDCT
CALL FSINIT
```

描画ルーチン

```
CALL ASREAD(ATYPE,ATMOD,FLDCT)
CALL GSSAVE(0,ISEG,'SAMPLE',2,MPARM,8,'AKMGDF00')
CALL FSTERM
STOP
END
```

上記ステートメントを挿入したソースプログラムを F O R T 7 7 G コマンドを用いて実行すると、G D F ファイルが A D M G D F (S A M P L E) というデータセットに出力されます。この G D F ファイルの内容をレーザプリンタに出力するには、以下のようになります。

```
READY
GDFPRINT SAMPLE E
```

なお、G D F P R I N T コマンドを実行すると、G D D M I M G というイメージデータ・ファイルが作成されます。同じ図を再度レーザプリンタに出力するときは、以下のように、G D D M I M G ファイルを使って出力要求することができます。

```
READY
GPRINT GDDMIMG 出力クラス名
```

… 出力クラス名は、戸畑キャンパスでは E または F
飯塚キャンパスでは C または D を指定します。
(I S C ニュース N o . 1 2 平成元年 1 1 月 6 日発行)

PROPATH の公開について

九州大学大型計算機センターに導入されている熱物性値プログラム・パッケージ PROPATH が、本センターの M V S 下でも利用できるようになりました。

PROPATH を使用しているプログラムを実行する前に、PROSET コマンドを使用して利用するライブラリ名を指定して環境設定をします。ライブラリのデータセット名は、文献 1 の付録 7 (p . 3 0 5) のライブラリのデータセット名と同じになっています (例えば、'LIB.PHE4V61.LOAD') 。環境設定で指定するライブラリ名は、ライブラリのデータセット名の 'LIB.' と '.LOAD' を取り除いた部分を指します。(ライブラリのデータセット名が 'LIB.PHE4V61.LOAD' ならば、ライブラリ名は、PHE4V61 となります。)

実行後は、PROEND コマンドを入力して環境設定をもとの状態に戻して下さい。

使用例

利用者のソースプログラムのデータセット名：ユーザ ID . P R O T E S T . F O R T

使用する PROPATH のライブラリのデータセット名：LIB.PH20V61.LOAD

```
READY
```

PROSET PH20V61 PROPATH の環境設定
FORT77 PROTEST ソースプログラムの翻訳実行

実行結果の出力

PROEND PROPATH 環境の解除

文献 1

「PROPATH 6.1 利用の手引」

(ISC ニュース No. 12 平成元年 11 月 6 日発行)

BITNET 電子メールの転送機能について

BITNET 電子メールを別のアドレスに転送することができるようになりました。これによって、複数の ID (個人用と講義用など) に送られてくる電子メールを、1 か所でまとめて管理することができます。

転送機能の設定、管理は、転送元となる ID にログインして

TELL MAILER FORWARD コマンド

を実行することにより行います。コマンドとしては ADD, DELETE, LIST の 3 つがあります。

ADD: 転送先アドレスの登録

TELL MAILER FORWARD ADD 転送先アドレス

(例: TELL MAILER FORWARD ADD foo@isci.kyutech.ac.jp)

※ 転送先を複数設定するときには、それぞれの転送先アドレスごとに ADD コマンドを実行します。

DELETE: 転送先アドレスの取り消し

TELL MAILER FORWARD DELETE 取り消す転送先アドレス

※ 現在のすべての設定を取り消す場合には

TELL MAILER FORWARD DELETE ALL

とします。

LIST: 転送先登録の一覧

TELL MAILER FORWARD LIST

海外ネットワークから学内 LAN への電子メールアドレスについて

BITNET に接続した他の海外ネットワークから、飯塚学内 LAN 上の計算機に電子

メールを送る場合のアドレス表記において、

foo%iscsi.kyutech.ac.jp@JPNKISCI.BITNET

のようにして、飯塚の BITNET-JUNET ゲートウェイを経由することを陽に書けるようになりました。なお、上の例は ARPANET から発信する場合を想定していますので、他のネットワークでは記法が異なる場合があります。

(I S C ニュース N o . 1 3 平成元年 1 2 月 1 1 日 発行)

PROPATH シングルショット・プログラムの公開について

M V S で利用できる熱物性値プログラム・パッケージ P R O P A T H のシングルショット・プログラムが使用できるようになりました。I S C N E W S No.12でお知らせした方法で、まず、P R O S E T コマンドを用いて、環境設定を行います。そして、P R O S H O T コマンドの後に使用するライブラリ名を指定します。

PROSHOT ライブラリ名

また、実行後は P R O E N D コマンドを入力して環境設定をもとの状態に戻してください。

使用例

使用する P R O P A T H ライブラリの P H 2 0 V 6 1 を呼び出す。

```
READY
PROSET PH20V61
PROSHOT PH20V61
```

シングルショット・プログラムの実行

PROEND

(I S C ニュース N o . 1 3 平成元年 1 2 月 1 1 日 発行)

DSLIS T コマンドについて

M V S でデータセットのリストを表示させるコマンド DSLIS T が使用できるようになりました。コマンドの形式は以下のとおりです。

DSLIS T

使用例

READY

4月からの計算サービス時間について

4月9日からの計算サービス時間は、次のようになります。

授業期間中（試験期間を含む）

曜日	飯塚キャンパス		戸畑キャンパス		
	ホスト	パソコン	ホスト	パソコン	MELCOM
月	9:00-19:00	9:00-21:00	12:00-22:00	9:00-22:00	13:00-22:00
火-金	9:00-19:00	9:00-21:00	9:00-22:00	9:00-22:00	9:00-22:00
土	9:00-12:00	9:00-14:00	9:00-22:00	9:00-22:00	9:00-17:00

夏期休暇などの授業期間外

曜日	飯塚キャンパス		戸畑キャンパス		
	ホスト	パソコン	ホスト	パソコン	MELCOM
月	9:00-17:00	9:00-17:00	12:00-17:00	9:00-17:00	13:00-17:00
火-金	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00	9:00-17:00
土	休み	休み	休み	休み	休み

(ISCニュースNo.15 平成2年3月20日発行)

電話番号の変更について

3月26日(月)から、飯塚キャンパスの電話がダイヤルインにかかります。

	外線	内線
センター事務室	(0948)29-7555	7555
端末回線	(0948)29-7571	7571
F A X	(0948)29-7567	

(ISCニュースNo.15 平成2年3月20日発行)

BITNET海外回線利用の制限について

日本およびアジア地区のBITNET利用の急速な拡大のため、これらの地域と欧米圏とを結ぶ通信回線（東京理科大—ニューヨーク市立大間）がパンク状態となり、現在電子メール、ファイルの転送に支障がでてきています。

東京理科大では今年中に回線容量を増やす計画を持っていますが、それが実現するまでの対応策として、この回線を通してメール、ファイルの大きさを1ファイルあたり1000レコード（80Kバイト）以内に制限することになりました。この制限を越えるファイルは回線の両端のノード（東京理科大とニューヨーク市立大）において抹消されます。

なお、事態が緊急を要しましたので、この制限は既に実行されています。

またこれに付随して、BITNETの利用に際して次のような点にも注意してください。

- (1) 当分の間、海外のLISTSERVから大きなファイルを取得することは控えてください（大きさが80Kバイトを越えるものは絶対に届きません）。
- (2) 海外のLISTSERVのLISTへの登録は必要最小限に止めてください（現在登録しているLISTで必要性の薄いものがあれば、登録を抹消してください）。
- (3) 海外のノードに対して、TELLやQNなどの即時コマンドはなるべく使用しないでください。

利用者の皆様には当分の間ご迷惑をおかけしますが、どうかご理解とご協力をお願いします。

（ISCニュースNo.16 平成2年6月23日発行）

MELCOM回線接続モデムについて

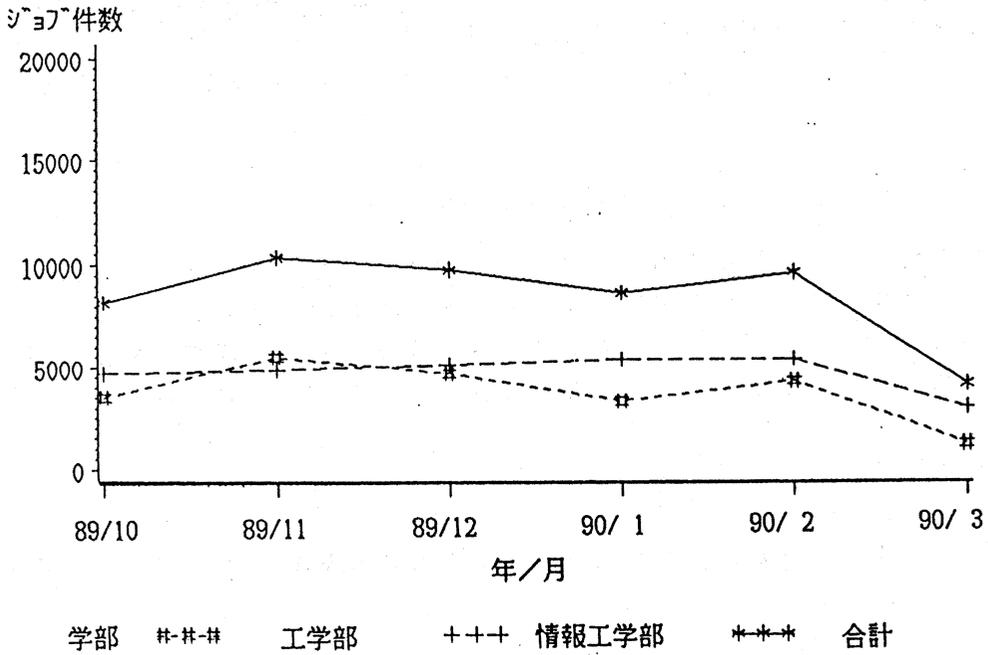
MELCOMの回線接続モデムが6月18日からOMRONのMD24FC5に変更され1200BPS、2400BPSのどちらでも接続可能になりました。また、接続内線電話番号も565,566,567,568の4回線が使用できます。

（ISCニュースNo.16 平成2年6月23日発行）

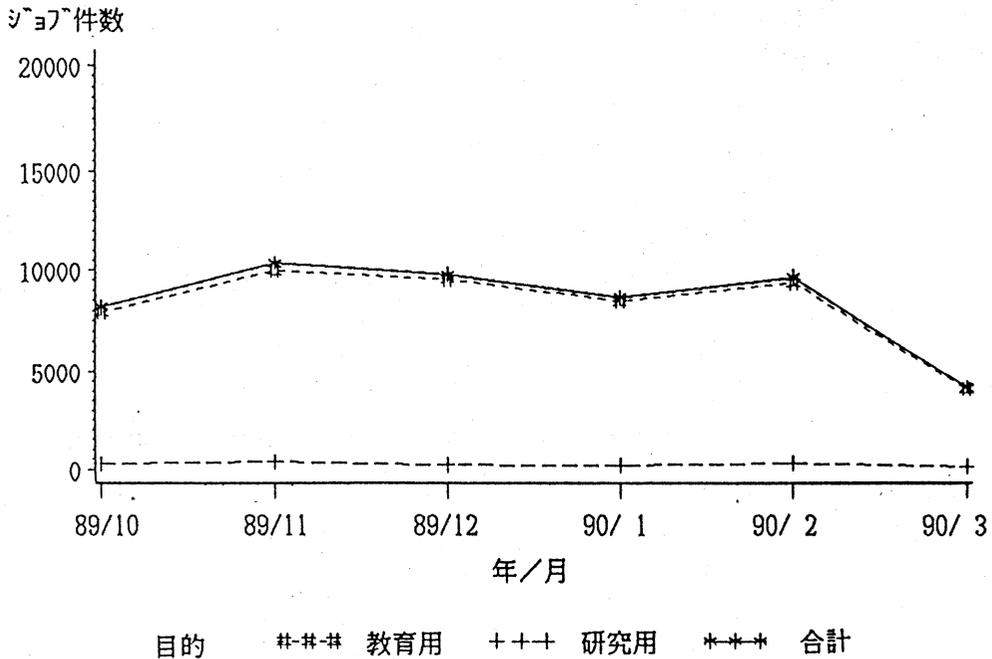
九州工業大学 情報科学センター
平成元年度後期利用実績報告

		教育利用		研究利用		利用合計	
登 録 者 数	合計	5,959		178		6,137	
	教官	811	5,148	155	23	966	5,171
	学生	4,411		165		4,576	
	工学部合計	694	3,717	142	23	836	3,740
	教官	195	1,173	53	13	248	1,186
	学生	183	1,391	53	9	236	1,400
	設計生産工学科	145	1,153	19	1	164	1,154
	電気工学科	171	0	17	0	188	0
	物質工学科	1,548		13		1,561	
	その他	117	1,431	13	0	130	1,431
	情報工学部合計	36	519	5	0	41	519
	教官	39	444	3	0	42	444
	学生	17	176	4	0	21	176
	知能情報工学科	14	213	1	0	15	213
	電子情報工学科	11	79	0	0	11	79
制御システム工学科	0	0	0	0	0	0	
機械システム工学科	49,070		1,411		50,481		
生物化学システム工学科	3,651	45,419	1,223	188	4,874	45,607	
その他	20,928		1,361		22,289		
全学合計	2,176	18,752	1,173	188	3,349	18,940	
教官	431	2,629	377	15	808	2,644	
学生	1,334	7,210	282	50	1,616	7,260	
工学部合計	183	8,913	444	123	627	9,036	
教官	228	0	70	0	298	0	
学生	28,142		50		28,192		
情報工学部合計	1,475	26,667	50	0	1,525	26,667	
教官	873	12,300	44	0	917	12,300	
学生	360	5,217	1	0	361	5,217	
知能情報工学科	156	4,243	1	0	157	4,243	
電子情報工学科	22	3,849	1	0	23	3,849	
制御システム工学科	64	1,058	0	0	64	1,058	
機械システム工学科	0	0	3	0	3	0	
生物化学システム工学科	172.5		411.0		583.4		
その他	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
全学合計	30.5		312.7		343.2		
教官	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
学生	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
工学部合計	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
教官	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
学生	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
情報工学部合計	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0	0.2	1.7	
生物化学システム工学科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	172.5		411.0		583.4		
教官	7.2	165.3	409.5	1.4	416.7	166.7	
学生	30.5		312.7		343.2		
情報工学部合計	2.3	28.3	311.2	1.4	313.5	29.7	
教官	1.0	4.3	0.9	0.0	2.0	4.3	
学生	1.0	14.2	2.7	1.4	3.7	15.6	
知能情報工学科	0.1	9.8	305.2	0.1	305.3	9.8	
電子情報工学科	0.2	0.0	2.4	0.0	2.6	0.0	
制御システム工学科	141.9		98.3		240.2		
教官	4.9	137.0	98.3	0.0	103.2	137.0	
学生	2.6	57.0	98.3	0.0	100.8	57.0	
知能情報工学科	1.7	55.3	0.0	0.0	1.7	55.3	
電子情報工学科	0.4	4.1	0.0	0.0	0.4	4.1	
制御システム工学科	0.1	19.0	0.0	0.0	0.1	19.0	
機械システム工学科	0.2	1.7	0.0	0.0			

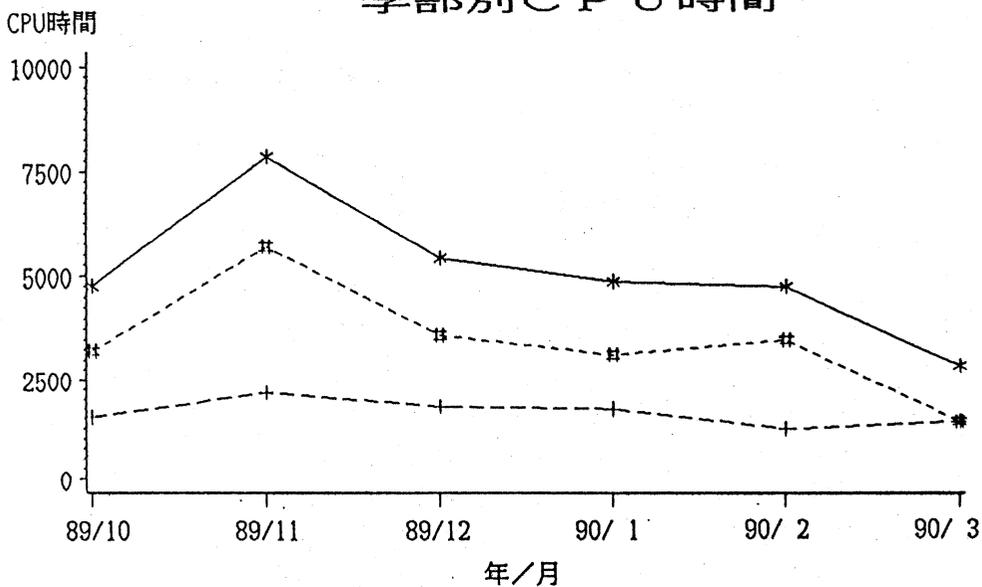
学部別ジョブ件数



目的別ジョブ件数

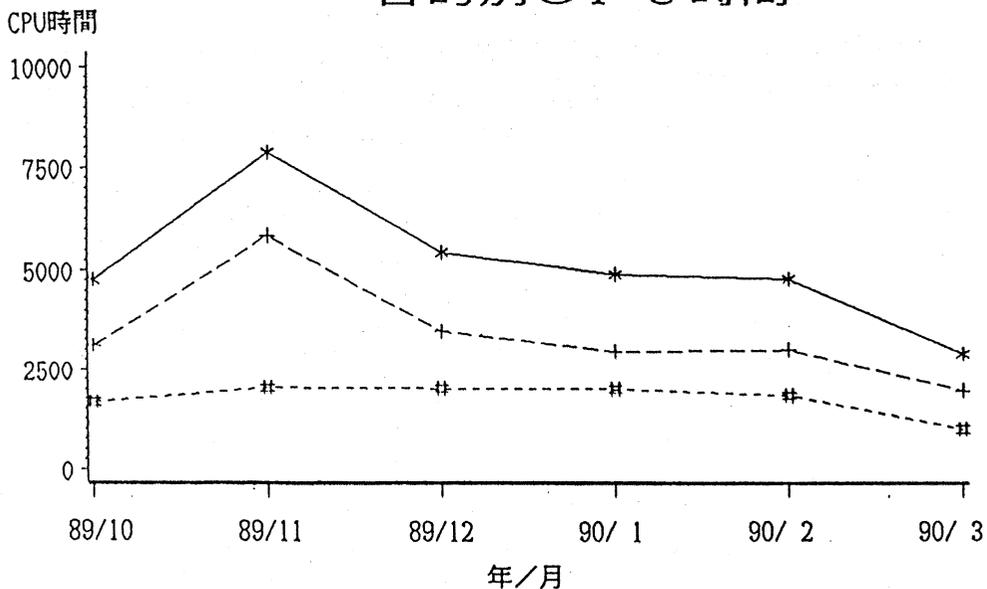


学部別CPU時間



学部 #-#-# 工学部 +-+ 情報工学部 *-#-# 合計

目的別CPU時間



目的 #-#-# 教育用 +-+ 研究用 *-#-# 合計

平成元年年度後期教育利用計算機稼働状況(月別)

学部	学科	10月		11月		12月		1月		2月		3月		後期合計	
		JOB件数	CPU時間												
工学部	設計生産工学科(学生)	715	0.83	490	1.06	376	0.58	470	0.81	386	0.57	192	0.34	2629	4.30
	(教官)	68	0.09	100	0.71	78	0.08	22	0.01	96	0.08	67	0.03	431	1.01
	電気工学科	1460	1.71	1976	2.89	1100	1.52	1001	1.91	1393	4.94	280	1.24	7210	14.20
	(教官)	243	0.09	244	0.10	231	0.12	208	0.09	302	0.57	106	0.03	1334	1.00
	物質工学科	637	1.01	2214	1.14	2601	2.59	1336	1.40	1741	2.86	384	0.78	8913	9.77
その他	(学生)	68	0.03	36	0.02	25	0.01	27	0.00	17	0.00	10	0.00	183	0.07
	(教官)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	(教官)	51	0.10	48	0.01	46	0.08	33	0.00	50	0.01	0	0.00	228	0.19
工学部合計	(学生)	2812	3.54	4680	5.09	4077	4.78	2807	4.12	3520	8.37	856	2.36	18752	28.27
	(教官)	430	0.21	428	0.84	380	0.22	290	0.11	465	0.65	183	0.06	2176	2.28
		3242	3.75	5108	5.92	4457	5.00	3097	4.23	3985	9.03	1039	2.42	20928	30.55

情報工学部	知能情報工学科(学生)	2165	10.87	1727	6.88	1528	9.69	2255	11.90	2558	10.61	1967	7.04	12300	56.99
	(教官)	227	0.48	220	0.58	161	0.49	142	0.79	91	0.20	32	0.02	873	2.55
	電子情報工学科(学生)	1174	10.86	792	14.70	886	9.56	884	9.97	1018	4.35	463	5.90	5217	55.34
	(教官)	44	0.17	59	0.04	101	0.22	66	0.38	48	0.72	42	0.13	360	1.66
	制御システム工学科(学生)	437	0.41	742	0.67	1270	1.69	884	0.71	607	0.44	303	0.15	4243	4.07
	(教官)	58	0.25	22	0.06	27	0.05	22	0.01	14	0.01	13	0.01	156	0.41
	機械システム工学科(学生)	416	0.66	893	3.82	864	6.03	818	4.35	779	4.02	79	0.08	3849	18.97
	(教官)	1	0.00	3	0.00	6	0.01	8	0.07	4	0.00	0	0.00	22	0.08
	生物化学システム工学科(学生)	144	0.18	359	0.79	111	0.09	238	0.18	195	0.42	11	0.01	1038	1.67
	(教官)	9	0.00	24	0.07	9	0.01	7	0.04	7	0.06	5	0.00	64	0.20
情報工学部合計	(学生)	4336	22.98	4513	26.86	4759	27.06	5079	27.11	5157	19.84	2823	13.19	26667	137.04
	(教官)	339	0.91	328	0.76	304	0.78	245	1.29	167	0.99	92	0.16	1475	4.90
		4675	23.89	4841	27.63	5063	27.84	5324	28.40	5324	20.83	2915	13.35	28142	141.94

教育利用全学合計	(学生)	7148	26.53	9193	31.95	8836	31.84	7886	31.23	8677	28.22	3679	15.54	45419	165.31
	(教官)	769	1.12	756	1.60	684	1.00	535	1.40	632	1.64	275	0.22	3651	7.18
		7917	27.65	9949	33.55	9520	32.84	8421	32.63	9309	29.86	3954	15.77	49070	172.29

*注意 CPU時間はIBM 3081を標準とし、IBM 4381は換算値を用いた。

平成元年度後期研究利用計算機稼働状況(月別)

学部	学科	10月		11月		12月		1月		2月		3月		後期合計		
		JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	JOB件数	CPU時間	
工学部	設計生産工学科(学生)	4	0.00	11	0.01	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	15	0.01	
	(教官)			51	0.08	47	0.07	24	0.01	163	0.70	20	0.03	377	0.94	
	電気工学科(学生)	12	0.13	19	1.14	2	0.00	3	0.03	13	0.06	1	0.00	50	1.36	
	(教官)			105	0.50	23	1.09	58	1.04	23	0.01	24	0.01	282	2.66	
	物質工学科(学生)	15	0.00	31	0.01	59	0.02	12	0.03	6	0.01	0	0.00	123	0.07	
	(教官)			85	48.20	135	53.93	64	46.06	63	48.55	39	21.32	444	305.19	
	その他(学生)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(教官)			31	1.46	3	0.00	7	0.09	22	0.83	3	0.00	4	2.44	
	工学部合計		237	49.75	294	87.68	135	55.18	168	48.01	252	49.26	87	21.36	1173	311.23
			268	49.89	355	88.83	196	55.20	183	48.06	271	49.33	88	21.36	1361	312.67
情報工学部	知能情報工学科(学生)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(教官)			15	83.40	14	2.14	2	0.59	0	0.00	7	10.49	44	98.29	
	電子情報工学科(学生)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(教官)			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.00	
	制御システム工学科(学生)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(教官)			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	機械システム工学科(学生)	0	0.00	0	0.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(教官)			0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	生物化学システム工学科(教官)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	その他(学生)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
(教官)			6	1.67	18	83.41	16	2.14	2	0.59	1	0.00	7	10.49		
情報工学部合計		6	1.67	18	83.41	16	2.14	2	0.59	1	0.00	7	10.49	50	98.29	
研究利用全学合計	(学生)	31	0.14	61	1.16	61	0.02	15	0.06	19	0.07	1	0.00	188	1.44	
	(教官)	243	51.42	312	171.08	151	57.32	170	48.59	253	49.26	94	31.85	1223	409.52	
	合計	274	51.56	373	172.24	212	57.34	185	48.65	272	49.33	95	31.85	1411	410.96	

*注意 CPU時間は IBM 3081 を標準とし、IBM 4381 は換算値を用いた。

平成元年度

センター日誌

平成元年	4月14日	運営委員会
	5月10日	ISCニュース No. 6発行
	5月25日	N1説明会(戸畑)
	5月26日	〃 (飯塚)
	5月 8日～ 6月24日	情報技術セミナー
	6月12日	ISCニュース No. 7発行
	6月16日	運営委員会
	6月26日	業務委員会
	7月 3日	ISCニュース No. 8発行
	7月11日～ 7月13日	工学部各教室出張講習会
	7月11日～ 7月18日	公開講座「コンピュータアート入門」
	7月20日	SAS講習会(戸畑)
	7月24日～ 7月25日	高校生見学
	8月 1日	SAS講習会(戸畑)
	8月 5日	ISCニュース No. 9発行
	8月12日～ 8月16日	センター休館
	8月31日	広報 No. 2発行
	9月 7日	ISCニュース No. 10発行
	9月26日	ISCニュース No. 11発行
	9月27日	運営委員会
		ネットワーク委員会
	10月 2日	将来計画委員会
	10月 9日	戸畑運用委員会
	10月11日	将来計画委員会
	10月31日	運営委員会
	11月 6日	ISCニュース No. 12発行
	11月23日～11月25日	センター休館
	12月11日	ISCニュース No. 13発行
	12月25日～平成2年1月6日	センター休館
平成2年	2月 7日	運営委員会
	2月23日	ISCニュース No. 14発行
	3月 9日	業務委員会
	3月20日	ISCニュース No. 15発行
	3月25日～ 4月 8日	センター休館
	3月27日	戸畑運用委員会

セ ン タ ー 人 事 異 動

H2. 3. 16	助手	奥村 登貴子	新規採用
H2. 4. 1	助手	今井 桂子	辞職 (津田塾大学勤務)
H2. 6. 30	事務補佐員	野口 博子	辞職 ((財)ファジィシステム研究所勤務)
H2. 8. 16	事務補佐員	岩崎 勝子	新規採用

セ ン タ ー 職 員 配 置

センター長 (併)	教授	有田 五次郎	(飯塚 7550)
センター次長	助教授	末永 正	(飯塚 7551)
(兼)	工学部講師	中山 泰雄	(戸畑 562)
	講師	山之上 卓	(飯塚 7552)
	助手	中村 為雄	(戸畑 563)
	同	奥村 登貴子	(飯塚 7556)
	同	中山 仁	(飯塚 7556)
	同	大西 淑雅	(飯塚 7556)
	技官	永井 徳仁	(飯塚 2051)
	同	大家 清治	(戸畑 572)
	同	井上 純一	(戸畑 572)
	事務官	橋倉 貴子	(飯塚 7555)
	事務補佐員	西野 喜可	(飯塚 7555)
	同	岩崎 勝子	(戸畑 569)

その他 学部学生よりなる技術補佐員22名